

平成25年8月8日

第5回 人と野生動植物の共生を考えるつどいの開催について

現在の水田は、経済性や効率性を優先した近代化により、水田に生息してきた多くの生き物の生育環境が劣化し、生態系に急速な変化がもたらされ、以前は数多く見ることができた赤トンボも、市内で数が少なくなってきました。

市では生物多様性基本法に基づき、東北の市町村では初めてとなる生物多様性地域戦略の策定に取り組んでおり、人と自然が共生する地域づくりを目指しています。

このことから、人と野生動植物との関わりを考え、自然を再生し、生態系を維持しながら、自然環境を持続的に利用していく方策などを検討し、生物多様性の向上を図ることを目的に下記のとおり開催します。また、引き続き「田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト交流会」を合同で開催し、県外参加者との意見交換も行います。

どなたでも聴講ができますので、多数のご参加をお待ちしております。

記

1. 日 時 平成25年8月24日（土） 午後1時30分～午後6時10分
※圃場視察（南方町南野谷地地内）は午後12時40分～午後1時10分
2. 会 場 南方農村環境改善センター ホール
（南方町八の森40番地1）
3. 主 催 登米市環境市民会議、登米市、NPO 法人ラムサール・ネットワーク日本
4. 内 容 別紙 次第のとおり
5. 案内地図 圃場視察会場 <http://goo.gl/maps/ckXV4>

〔問い合わせ〕
市民生活部 環境課（環境政策係）
担当：主査 佐々木 清晴
電話：0220(58)5553

第5回 人と野生動植物の共生を考えるつどい

テーマ「田んぼの生物多様性について考える」

～登米市の田んぼに赤トンボのにぎわいを取り戻そう～

合同開催

「田んぼの生物多様性向上 10年プロジェクト交流会in登米」

とき 平成25年8月24日(土)

午後1時30分～午後6時10分

ところ 登米市南方農村環境改善センター

～ 次 第 ～

1 開 会 13:30～

2 開会の挨拶 登米市環境市民会議 会長 佐藤 幸一

3 歓迎の挨拶 登米市長 布施 孝尚

[第 1 部]

4 基調講演 13:45～15:30

(1) 演題 『ミツバチや赤トンボがこつ然と消えた』

NPO法人 ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議

理事 水野 玲子 氏

(2) 演題 『田んぼの生き物を豊かにする稲作技術』

NPO 法人 民間稲作研究所

代表 稲葉 光國 氏

【主 催】 登米市環境市民会議 登 米 市
NPO 法人 ラムサール・ネットワーク日本

【共 催】 公益社団法人 登米法人会 みやぎ登米農業協同組合
NPO 法人 田んぼ NPO 法人 民間稲作研究所
NPO 法人 オリザネット 日本雁を保護する会
IUCN 日本委員会 NPO 法人 蕪栗ぬまっこくらぶ

[第 2 部]

5 田んぼの生物多様性向上 10 年プロジェクト交流会 in 登米 15:35~18:10

(1) 田んぼの生物多様性向上 10 年プロジェクトについて

- ・ IUCN 日本委員会 (道家哲平氏)
- ・ NPO 法人 ラムサール・ネットワーク日本水田部会 (呉地正行氏)
- ・ NPO 法人 オリザネット (斎藤光明氏)

(2) 登録団体等 (9 団体) からの活動発表

- ・ 登米市 (市民生活部環境課)
- ・ 全国エコファーマーネットワーク (佐々木陽悦氏)
- ・ ^に新田から全国へ超元気を発信する協議会 (佐藤耕城氏)
- ・ NPO 法人 田んぼ (岩渕成紀氏)
- ・ JA みやぎ登米南方町水稻部会 (大久保芳彦氏)
- ・ (株)アレフ (橋部佳紀氏)
- ・ NPO 法人 蕪栗ぬまっこくらぶ (戸島潤氏)
- ・ 蕪栗グリーンファーム (斉藤肇氏)
- ・ 大谷いのちをつなぐ田んぼの会 (小野寺雅之氏)

(3) 意見交換

6 閉会の挨拶 NPO 法人 田んぼ 理事長 岩 渕 成 紀

7 閉 会 18:10

【圃場視察】(田んぼの生物多様性向上 10 年プロジェクト交流会、県外参加者対象)

- ・ ふゆみずたんぼ等 JA みやぎ登米南方町水稻部会の水田 (登米市南方町南野谷地地内)

12:40~13:10

(JR 東北新幹線くりこま高原駅 12:10 発の登米市バスにより送迎)